

別紙③

TH3000 形（TH3501 号車）の再利用に関する応募要領

令和 3 年 4 月 2 1 日

浜松市天竜区二俣町阿藏 1 1 4 - 2

天竜浜名湖鉄道株式会社

○本件に関する問合せ先

営業課 生熊 TEL 053(925)2276

1 趣旨

1996年2月に営業運転を開始したTH3000形(TH3501号車)(以下「本列車」という。)は、車両の老朽化により令和3年5月〇日をもって、正式に引退することとなった。

天竜浜名湖鉄道株式会社(以下「天浜線」という。)は、本列車がスローライフトレイン、マリメッコ列車として人気があり、廃車を惜しむ声も聞かれることから、再利用に関する公募を行う。

なお、本列車の主要諸元等については、別表のとおり。

2 公募にあたって

(1) 再利用に係る営業及び本列車の取扱い等の形態

再利用の形態については、下表のいずれかとし、応募者は別紙様式1の再利用応募申込書(事業計画書)に区分を明示する。

区分	営業主体	本列車の取扱い	備考(必要な経費等)
1	応募者	買取り又は譲受 (応募者所有)	・本列車の購入代金 ・設置場所への移設費及び内装改造費 ・光熱費等の維持管理費 ・本列車の維持管理費(再塗装等)
2	応募者	賃借 (天浜線所有)	・本列車の賃借料 ・設置場所への移設費及び内装改造費 ・光熱費等の維持管理費
3	天浜線	天浜線所有	・天浜線として営業 (営業等の実務を応募者が実施)

※本列車の移設費は、100～200万円程度必要と見込まれます。

(2) 採用の方法

天浜線は、提出された再利用応募申込書を主に以下の観点に基づいて書面審査し、候補となる提案を選定(複数の場合は優先順位を付す。)の上、選定した提案の応募者と再利用に向けた詳細な打合せ、調整を実施して、最終的な採否を決定する。

- ① 天浜線及びその周辺地域の発展に寄与するか。
- ② 営業等の内容が本列車の雰囲気等に合致するか。
(マリメッコの装飾は撤去予定)
- ③ 天浜線の経費負担の軽減につながるか。
- ④ 再利用としての持続性が高いか。
- ⑤ 話題性に富んでいるか。(天浜線の知名度の向上につながるか。)

(3) 応募資格

次の条件を全て満たす法人又は個人(任意団体可)及び自治体とする。

- ① 以下に該当しない者であること。
ア 契約を締結する能力を有しない者

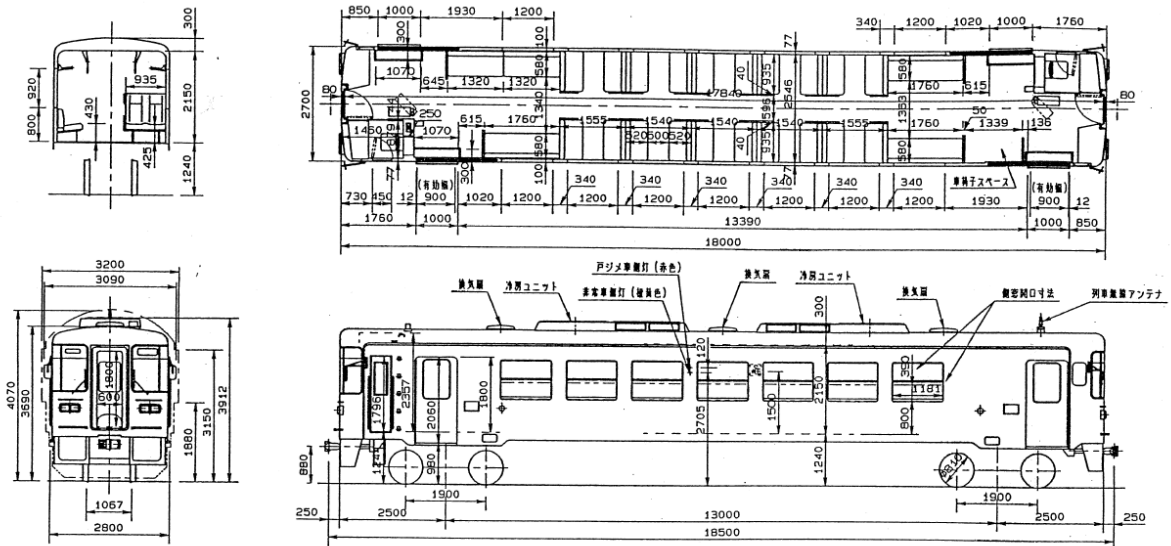
- イ 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- ウ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）第三十二条第一項各号に掲げる者
- ② 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされていない者（更生手続開始の決定を受けている者を除く）又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者（再生手続開始の決定を受けている者を除く）であること。
- ③ 国税及び地方税を滞納していない者であること。
- ④ 次に掲げるいずれにも該当しない者であること。
 - ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に該当する団体（以下「暴力団」という。）
 - イ 個人又は法人の代表者が暴力団員等（法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。）である者
 - ウ 法人の役員等（法人の役員又はその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外の者をいう。）が暴力団員等である者
 - エ 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって暴力団又は暴力団員等を利用している者
 - オ 暴力団若しくは暴力団員等に対して、資金等提供若しくは便宜供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し又は関与している者
 - カ 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者
- ⑤ この要領に記載する条件等を遵守する者であること。

3 スケジュール（予定）

区分	期間等	備考
応募要領の配布	R3. 4. 21～5. 31	・HPからのダウンロード等
本列車の車両内覧	R3. 4. 22～4. 30	・要事前連絡
応募申込書の提出	R3. 4. 22～5. 31	
選定者への連絡	R3. 6. 2	・電話連絡
選定者との調整	R3. 6. 3～6. 18	
採否決定・契約	～R3. 6. 25	
営業等の開始	R3. 7～(予定)	・採用者との調整による

(1) 主要諸元

項目		諸元
旅客定員	座席 (人)	58
	立席 (人)	57
	合計 (人)	115
車体重量	空車 (t)	30.2
	積車 (t)	36.5
主要寸法	最大長 (mm)	18500
	最大幅 (mm)	3090 (サイドミラー含む)
	最大高 (mm)	4070
	車体外部幅 (mm)	2700
	床面高さ (mm)	1240
駆動機関	エンジン形式	NTA-855-R1
	総排気量	14.0 L (直 6 気筒)
	定格出力	350 ps/2000rpm
	乾燥重量 (kg)	1400
変速機装置	形式	TACN-22-1614
	種類	3 要素 1 段 2 相
	切換制御	変速 2 段・直結 1 段・手動
台車	方式	空気バネインダイレクトマウント
	軸距 (mm)	1900
	車輪直径 (mm)	810
ブレーキ装置	ブレーキ方式	SME 三管直通空気 (応加重付)
	留置ブレーキ	手ブレーキ
車体・設備	構体材料	鋼製
	腰掛配置	セミクロス (10 ボックス)
	側窓構造	上窓固定・下窓上昇
	側窓ガラス	強化ガラス
	側窓カーテン	横引きカーテン
連結器		小型密着連結器
製造所		富士重工業(株) (現：新潟トランス(株))



(2) 沿革

年月日	内容	備考
1995年10月2日	新造車両入線	TH3501号車
1995年10月23日	車両確認申請	輸送力増強、予備車確保のため新造
1996年1月17日	確認書の交付	
1996年1月26日	車籍登録	車両運用へ公式編入
1996年2月6日	出発式	営業運転開始
1999年3月	重要部検査(第1回)	
2002年12月	全般検査(第1回)	
2005年12月頃	トロッコ牽引車に流用	トロッコ牽引車(TH1型)の廃車による
2006年2月28日	車体塗装施工	トロッコ色(現行色)へ車体塗装を変更
2006年11月30日	トロッコ列車運用休止	
2007年4月	重要部検査(第2回)	
2011年10月	全般検査(第2回)	参考: H22年9月 TH3502号車廃車解体
2013年2月28日	ATS改良工事	
2015年10月頃	スローライフトレイン命名	都田建設によるマリメッコ仕様
2016年7月1日	運用休止	検査切れによる
2016年10月	重要部検査(第3回)	廃車計画を変更
2020年4月	全般検査見送り決定	検査切れとなるR3年末まで運用
2020年12月3日	故障により使用停止	運用除外決定

様式 1

TH3000 形 (TH3501 号車) 再利用応募申込書

2021 年 月 日

天竜浜名湖鉄道株式会社 様

所在地
申込者 事業者等名
代表者氏名 印

TH3000 形 (TH3501 号車) の再利用について、別紙事業計画書のとおり提案の上、下記の書類を添えて申し込みます。

なお、募集要領に定める応募資格をすべて満たしていること及び応募書類について事実と相違ないことを誓約します。

(添付書類)

- 1 法人登記簿謄本(法人のみ)
- 2 履歴書(個人のみ)
- 3 金融機関の残高証明書等、必要な資力が確認できる書類
- 4 事業計画書(様式2)
- 5 定款、寄附行為、規約その他これらに類する書類の謄本
- 6 直近3か年における事業報告書、貸借対照表、損益計算書(販売費及び一般管理費の明細があるもの)及び株主資本等変動計算書(法人のみ)
- 7 直近1年間の法人税、消費税及び地方消費税、都道府県民税、市町村税の納税証明書

※応募者が自治体の場合は、4 事業計画書

事業計画書

事業者等名

1 再利用の形態区分及び予定購入金額等

営業等の形態区分	区分 1 2 3	←いずれかに○
列車購入予定金額	千円(税抜)	←形態区分1の場合
列車賃借料の予定金額	千円(税抜)／月	←形態区分2の場合

2 再利用の内容

(1) 営業等の種別 (例：カフェの営業 等)

(2) 設置場所 (例：天竜二俣駅 等)

※必要に応じ、図面を添付

(3) 営業等の開始時期

(4) 営業内容や営業時間等の詳細

3 アピールする点

※天浜線の知名度向上、発展、周辺地域の振興につながる点等

4 営業等に必要となる費用の見込み

(開始年度)

項目	金額	備考
列車の移設		
内装工事等		
合計		

(次年度以降)

項目	金額	備考
合計		

5 資金計画

(開始年度)

項目	調達先	金額	備考
自己資金	—		
借入金			
合計			

(次年度以降)

項目	調達先	金額	備考
自己資金	—		
借入金			
合計			

6 収支計画(通常ベース)

収 入		支 出		差引収支
項目	金額	項目	金額	
合計				

※1 この書式は参考です。用紙サイズはA4縦とし、要領本文の「2公募にあたって」に留意して記載してください。

※2 ページ数についての制限はありません。